

SAPPORO TENJINYAMA ART STUDIO 2015

Annual Report April 2015 - March 2016

札幌市の新しい文化芸術施設 さっぽろ天神山アートスタジオ 2015年度活動記録集

さ
っ
ぽ
ろ
天
神
山
ア
ー
ト
ス
タ
ジ
オ



SAPPORO TENJINYAMA ART STUDIO 2015 RESIDENTS

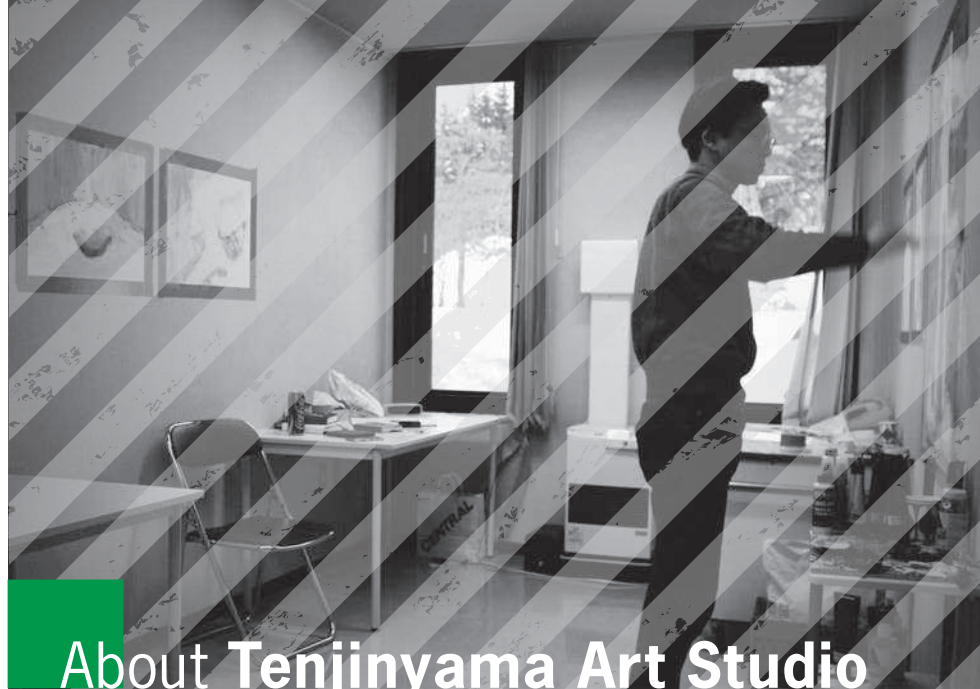
WENG NAM YAP / BOAT XIAOCHUAN ZHANG / SYV BRUZEAU / MAO KUSUZAKI / TAKUYA YOKOYAMA / SEIYA SHINOTSUKA / YUHEI HIGASHIKATA / LANCE TAIT / STEPHANIE MÜLLER / KEISUKE ONODERA / AYUMI KAITSUKA / TETSU SAITO / JEAN LAURENT SASPORTES / MAKOTO FUJIWARA / KAICHI SUGIYAMA / NAO MASAKI / YUME SATO / YUKAKO SUZUKI / HIROMI HAMAGUCHI / AYUMI KAITSUKA / YOH YASUDA / SATOMI OIKAWA / AYANO HOTTA / TAKANORI KUBO / TOHRU NAKAZAKI / MAYU TSURUTA / TAISHI HAYAMA / SHOTARO ARIKADO / KANON MATSUMOTO / SACHIKO UCHIYAMA / KAORU KUMAGAI / KIYOHICO NAGAI / SOICHIRO NAGATA / HANAE SHIKANO / KANA YOSHIDA / KIRI TAKAHASHI / HIDETO KIKUCHI / RURI MITOU / TOHRU NAKAZAKI / NAOTAKA HIRATSUKA / DAISUKE NAGAOKA / 18 PARTICIPANTS IN THE ART CAMP / YUKI CHIKAMATSU / KUMI YOKOYU / COHTA ASANO / SEINOSHIN YAMAGISHI / AKIKO KOIKE / YOSHITAKA OISHI / MAO KUSUZAKI / LANCE TAIT / RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY / TERUO TADA / WATARU ASADA / TATSUYA HAMADA / YOKO ISHIHARA / MICHİYOSHI ISOZAKI / SIDD MURRAY CLARK / TAMAKI KAWAKAMI / MARIKO ASAI / EIKO SOGA / YUKO KONISHI / ZYUNICHIRO KISHI / KANA YOSHIDA / SOHICHIRO NAGATA / AYAKO NOGUCHI / YUKO KONISHI / MASANORI FUJIKI / KATSUTOMO WAKABAYASHI / HOLLY WARBURTON / SHUNSUKE KANO / YUTA HAYAKAWA / AKIRA TAKAISHI / DAISUKE ISHII / MASATOMO NAYA / NORIKO HATADA / MADOKA CHIBA / ORIE TAKANO / EIKO SOGA / SHIROU MAEDA / ANDI SCHMIED / COLINET MARGOT / DAISUKE NAGAOKA / TAKASHI TAMURA / NISHIKO / MOTOKA WATANABE / DORIAN CAVÉ / LILIAN CHAUBET / CHIKAYO TSURUMI / YUYA SUZUKI / MANANORI FUJIKI / JESSE LEE PARKER / IDA LAWRENCE / KIICHIRO SAWAMURA / SAYA IRIE / AMI YAMASAKI / YASUFUMI KURASAKO / MOTONORI KAWAMURA / MEGUMI TOJINBARA / YOSHIIHIKO SHIKADA / TAKASHI TAMURA / JULIEN MCCONELL / DAISUKE KURODA / DAIZABURO SAKAMOTO / TONBOSENSEI / MIZUKI MISUMI / BIG WRAPPING CLOTH FACTORY / DORIAN CAVÉ / NOZOMU OGAWA / ANCA MIHULET / MICHİYOSHI ISOZAKI / YOSHIKATSU FUJII / MOTONORI KAWAMURA / ALEIX PLADEMUNT / TAKASHI TAMURA / 16 PARTICIPANTS IN THE AIR CAMP / TATSUSHI KAWANABE / LEK LAWRENCE / JIN HAOFAN / YUYA SUZUKI / INGE TRIENEKENS / SHIROU MAEDA / DORIAN CAVÉ / DAISUKE KURODA / INA KWON / BEVERLY SMITH KEILING / TUAN TRAN / BOAT XIAOCHUAN ZHANG / HAN ISHU / SOPHAL NEAK / TAKAHIRO TOMATSU / BETTINA BERGER / DANIEL LORENZO / YASUMI SUMI / MONIKA JUNKER / ISAK IMMANUEL / AKIHIRO YOSHIKAWA / MIDORI MITAMURA / MASANORI FUJIKI / SOICHIRO NAGATA / TIM THORNTON / DAISUKE NAGAOKA / CHIKARA MATSUMOTO / SOHU HONDA / YU YAMAUCHI / HIBIKI TAKAMA / JIN HAOFAN / NAOKO KOMATSUHIRA / AMI YAMASAKI / MELANIE WINDL / HINANO ISHIYAMA / TSUBASA AKO / CHIHIRO YASUDA / MIKA MIKAMI / TAKUMI SATO / FUMIKO KIKUCHI / KENTA SHINYA / CHIHIRO ICHINOSE / NORIKO YAMAMOTO / MAO KUSUZAKI / SHIMABUKU / MASANORI FUJIKI / EMI NAKAMURA / BANANA YOSHIMOTO / MAKOTO MURATA / SHINYA YAMAKI / NAO MASAKI / KAICHI SUGIYAMA / MASATOMO NAYA

さっぽろ**天神山**アートスタジオとは

さっぽろ天神山アートスタジオは、成果物の所蔵や展示・発表といった札幌市内のこれまでの文化芸術施設とは性質が異なります。発表という「ハレ」ではなく、制作やリサーチ活動といった発表前の、つまり「ケ」の活動を支援するための施設だからです。

ここでは、札幌市の文化芸術施設として、中長期滞在向きのスペースを創造的に行う人に対し低料金で提供しています。このシステムは創造的活動への補助金支給と近い内容であり、新しい制度の運用施設と位置付ければ、札幌市の先駆的な試みといえます。この新しい制度を活用し、同施設に滞在する札幌・北海道を始めとする国内外からの人に向け、専門スタッフがアーティストック・リサーチへのアドバイスやコーディネートを通じて彼らの創造的活動を尊重、支援しているアーティスト・イン・レジデンス (AIR) 拠点として運営しています。

施設内には、町内会の会議などで一般市民の利用が可能な交流スタジオがあり、さらに天神山緑地公園の無料休憩スペースも兼ねていることから、多様な目的の人々が思い思いに集う場所です。このように文化芸術活動だけではなく複合的な活動が館内に同居していることは文化芸術施設としてユニークな特徴です。滞在スタジオを利用する国内外のアーティストからは、「札幌の人と会える、市民の暮らしを垣間見ることができる、お年寄り、子どもといったさまざまな年齢の人に会える」というこの風景はたいへん好評で、この環境に触発された滞在アーティストが、展示スペースでの活動や交流型のプロジェクトを提案し、実施することもあります。また、アーティスト・イン・レジデンス拠点としては、ほかのAIRでは受入の難しい、家族連れ、小さな子ども連れのアーティストの滞在が気兼ねなくできることも特徴で、この点は滞在者から喜ばれています。これら二つの特徴を活かし、運営では、既存の鑑賞型文化芸術施設とは異なる手法や側面で創造的活動と市民との接点をひろげています。極端な言い方をすると、さっぽろ天神山アートスタジオは「市民と作品(もの)」との、ではなく、「市民と人(アーティスト、市民)」の出会いがある文化芸術施設です。



About Tenjinyama Art Studio

アーティスト・イン・レジデンス(AIR)とは

アーティスト(創造的活動を行うもの)の移動を促進する事業やしくみのことを指す。創造的活動を行うものにとって「一時的な移動」の機会を自身の活動を活性化させキャリア構築に有効であると理解されている。AIRの起源とされるのは、17世紀にフランス政府が新進アーティストに対する奨学金のひとつとして「ローマへの旅行の資金と機会」を与えたことであり、以降、欧州を中心にポストアカデミーとしての役割や位置づけ、奨学金に代わる賞与、アーティストの活動を支援する精神を受け継ぎながら世界中に広がった。日本は遅れること1990年代に、国際交流基金、文化庁がアーティスト育成、創造的活動への支援ならびに文化外交の新しい手段として事業モデルを全土に拡散した。現在までに、行政、民間、個人など多彩な運営体制のもと、全国で事業運営が行われている。また、アーティストがある地域に一定期間滞在することの副産物が引き金となる地域振興、地域活性化を狙った事業にAIRが導入されるようになり、創造的活動を行う人への支援という理念を守りながら、各地で開催される国際展、地域コミュニティ再生事業の爆発的な増加に連動してAIRというしくみが盛んに取り込まれている。そこには文化芸術活動が表現の当事者以外の他者に与える影響に対する期待とともに、「滞制作という活動形態」「地域性を取り込んだ、または起因する作品や活動」というAIRの特有的な部分が文化芸術事業のアクセシビリティを高める手段となりうる可能性を發揮させている。この傾向は市民社会における文化芸術の位置づけの違いから(制度内、制度外という明確な区別がないままに導入された)、アジア圏、日本独自に展開したため、日本のAIRは欧米とは趣を変えているようだ。

Timeline of Tenjinyama Art Studio

さっぽろ天神山アートスタジオ 2015.04 - 2016.03

さっぽろ天神山アートスタジオ(以下、天神山AS)では、2015年度(2015年4月～2016年3月)に世界16カ国、のべ417名(実数260名)のアーティストや研究者などが滞在しました。ここでは滞在アーティストの簡単なプロフィールや滞在中の活動情報に加え、天神山緑地の歳時記や、天神山ASで開催されたイベント・プログラムを、毎月に掲載しています。

ま咲桜
しきが
た。
。

掲載情報の表記方法

① その月に行われたイベント・プログラムなど

② 滞在アーティスト情報

- ・名前(日、英)
- ・国籍または活動拠点 *北海道内の場合は市町村名
- ・主な活動分野(美術、音楽、工芸など)
- ・滞在日程
- ・主な滞在目的(製作、リサーチ、ワークショップなど)
- ・その他(劇団名・ユニット名、共同利用人数など)

③ 滞在アーティストの活動情報

- 天神山ASの主催事業など
- その他(滞在中に関連する札幌市内・北海道内の文化事業など)
- ・イベント・展覧会タイトル
- ・開催場所
- ・開催日時

※さっぽろ天神山アートスタジオが対象とする“アーティスト”とは、美術、音楽、工芸、演劇、ダンス、文芸、写真、映像、デザインなどの分野で創造的な活動を行う方

4.29 日常



天神山の桜の種類検索QRコードの作成・設置

桜の名所、天神山の桜が咲き始めると、天神山ASも来館者で大賑わい。4種類合計420本あるといわれる天神山の桜の種類についてのブログを更新し、その場で読み取れるQRコードを作成・設置。すると来館者より更に詳しい桜の情報や写真の提供が寄せられるなど、広く一般に活用された。

ウェンナム ヤブ Weng Nam Yap

マレーシア / 映像・グラフィック / 2015.1.30 - 4.8 / 制作 *1

ボート シャオチュアン チャン Boat Xiaochuan Zhang

中国 / 写真・美術 / 2015.3.31 - 4.3 / リサーチ

スィヴ ブルジウ Sylv Bruzeau

フランス(シンガポール) / 舞踊 / 2015.3.31 - 4.5 / 公演

楠崎 真央 Mao Kusuzaki

日本(札幌) / 美術・生感学 / 2015.4.1 - 4.9 / 制作 *2

横山 拓也 Takuya Yokoyama

日本(大阪) / 演劇 / 2015.4.7 - 4.28 / 公演 *3

篠塚 聖也 Seiya Shinotsuka

日本(東京) / 美術 / 2015.4.14 - 7.2 / 制作・リサーチ *4

東方 悠平 Yuhei Higashikata

日本(神奈川) / 美術 / 2015.4.16 - 6.16 / 制作 *5 *6

ランス テイト Lance Tait

アメリカ / 文芸 / 2015.4.30 - 5.21 / 制作・リサーチ

04

APRIL 2015

■*1 さっぽろ冬のバカンス / 天神山AS / 2015.2.1 - 2.22 ■*2 Epic / アイカップ自然史博物館 / 2015.8.1 - 8.30 ■*3 人の気も知らないで / 扇谷記念スタジオシアター ZOO / 2015.4.25 - 4.26 ■*4 Old Days / ANDO GALLERY / 2016.2.2 - 4.30
■*5 Authentic Fabrication-Sapporo / 北海道教育大学アーツ&スポーツ複合施設HUG / 2015.4.25 - 5.10 ■*6 Over The Counter / 天神山AS / 2015.5.21 - 6.10

5.17 イベント



「グーテンモルゲン山」

滞在アーティスト、シュテファニー・ミュラーと札幌市内のアートパフォーマンスユニットによるイベントを朝9時から開催した。天神山AS内の交流サロン、展示スペース、天神山緑地を使って、風や葉のこすれる音を利用した身体表現やレコーディングなどを行った。終了後は毎月1度行うArt & Breakfastにてトークを行った。

5.17 イベント



Art & Breakfast Day

Art & Breakfastは美術作家、三田村光土里が2006年より世界各地で行っている滞在制作型アートプロジェクト。天神山ASでは、滞在アーティストと地域の方々などとのコミュニケーションの場として、2014年の11月12日に開催。2015年度は5月より毎月第3日曜日に定期的実施。滞在アーティストによるトークやワークショップなども合わせて毎月行っている。

5.21 - 6.10 展示・公開制作



Over The Counter

滞在アーティスト、東方悠平による公開制作(2015.5.21-5.27)、および作品展示(2015.5.28-6.10)を開催。日常身の回りにある道具などを用いたインスタレーションは、来館者とのコミュニケーションを経ながら日々アップデートされていった。

5.31 イベント



天神山お誕生日会

天神山ASの1周年を祝って、過去の滞在者からのバースデーメッセージの掲示や、来館者による天神山ASにあてた巨大寄せ書きを制作・展示した。地域住民による人工大理石を使ったワークショップ、風船を使ったワークショップも行った。

まもピ
しらア
たいノ
。

シュテファニー・ミュラー Stephanie Müller

ドイツ / 音楽・映像 / 2015.5.6 - 5.20 / 制作 / ほか1名 *1 *2

斎藤 徹 Tetsu Saito

日本(千葉) / 音楽 / 2015.5.31 - 6.2 / 公演

小野寺 敬介 Keisuke Onodera

日本(札幌) / スポーツ / 2015.5.30 - 5.31 / リサーチ / ほか3名

ジャン ローレン サスポータス Jean Laurent Sasportes

モロッコ(大阪) / ダンス / 2015.5.31 - 6.2 / 公演 / ほか1名

貝塚 歩 Ayumi Kaitsuka

日本(東京) / 美術 / 2015.5.30 - 6.3 / リサーチ *3

■*1 グーテンモルゲン山 / 天神山AS / 2015.5.17 ■*2 バイスボニー × 碧衣スイミング / OISOGASHI MYHOMETOWN / 2015.5.7 - 5.23 ■*3 コンパスノース / 天神山AS / 2015.6.26 - 7.7

05
MAY 2015

6.2 - 日常



TPPミュージアム・ガーデン

2014年度招聘プロジェクト「TPPミュージアム(マイケル・エディ+植村絵美)」が開始した施設周りの花壇を野菜畑にする活動を継続。今年度はボランティアスタッフが中心となって、期間中整備を行った。天神山の麓にある南平岸町内会からいただいた花の種や野菜の種を植え、できた野菜は定期的に開催しているArt & Breakfast Dayの際に収穫・調理され、参加者に振るまわれた。

6.26 - 7.5 展示



コンパスノース

2012年に青森県十和田市現代美術館で開催された奈良美智の展示に連動する企画公募で選ばれた"美術部員"「青い森のちいさな美術部」による展覧会を開催。北海道のリサーチを経て制作された新作だけでなく、過去の活動記録も展示。最終週には部員によるアーティスト・トークも開催した。

藤原 真 Makoto Fujiwara

日本(小樽) / デザイン / 2015.6.6 - 6.7 / 制作

鈴木 佑佳子 Yukako Suzuki

日本(青森) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

及川 さとみ Satomi Oikawa

日本(山形) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

鶴田 真由 Mayu Tsuruta

日本(東京) / 美術・演劇 / 2015.6.26 - 6.28 / 制作 *1

杉山 開知 Kaichi Sugiyama

日本(静岡) / 美術・音楽 / 2015.6.16 - 6.30 / 制作 *1

濱口 拡美 Hiromi Hamaguchi

日本(東京) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

堀田 彩乃 Ayano Hotta

日本(東京) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

葉山 太司 Taishi Hayama

日本(福岡) / 演劇 / 2015.6.28 - 7.28 / 公演 *6

正木 なお Nao Masaki

日本(長野) / 美術 / 2015.6.16 - 6.30 / 制作 / ほか2名 *1

貝塚 歩 Ayumi Kaitsuka

日本(東京) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

久保 隆徳 Takanori Kubo

日本(富良野) / 演劇 / 2015.6.20 - 8.25 / 公演 *3

佐藤 ゆめ Yume Sato

日本(札幌) / 音楽 / 2015.6.20 - 6.21 / リサーチ / ほか2名

安田 葉 Yoh Yasuda

日本(神奈川) / 美術 / 2015.6.20 - 7.7 / 制作 *2

中崎 透 Tohru Nakazaki

日本(茨城) / 美術 / 2015.6.21 - 6.24 / リサーチ *4

06

JUNE 2015

■*1 太陽系時空間地図 地球暦 HELIO COMPASS 2015 / モエレ沼公園 ガラスのピラミッド / 2015.6.20-6.27 ■*2 コンパスノース / 天神山AS / 2015.6.26 - 7.7 ■*3 12人の怒れる男 / 生活支援型文化施設 コンカリーニョ / 2015.8.13 - 8.23
■*4 さっぽろ八月祭2015 / 札幌市北3条広場(アカブラ) / 2015.8.7-8.8

7.11 - 7.12 合宿型プログラム



札幌×デザイン学生向けワークショップ

市内美術系大学生による合宿型ワークショップ。「札幌×デザイン」をテーマに、複数の大学・異分野の学生が数グループに分かれてアイデアをまとめ発表した。天神山ASは展示スペースを提供し、成果発表時に来館者も発表を見ることができる機会を設けた。

主催：ソツテン制作委員会 / 協力：さっぽろ天神山アートスタジオ

7.17 イベント



カルチャーナイト連携企画 天神山夜祭

北海道内の公共施設や文化施設、民間施設を夜間開放し、市民が地域の文化を楽しむ行事「カルチャーナイト」に参加。地域住人などとともに、朗読、楽器演奏、パフォーマンスなどを行った。

主催：カルチャーナイト実行委員会

7.25 - 8.6 公開制作



天神山大風呂敷工場(さっぽろ八月祭2015)

札幌市北3条広場(アカブラ)を舞台に8.7、8.8の2日間開催する「さっぽろ八月祭」の一環として、札幌国際芸術祭2014で開催した「フェスティバル FUKUSHIMA!北3条広場で盆踊り」を引き継ぎ、天神山ASの展示スペース内に「大風呂敷工場」を設置した。アカブラ会場全域を飾る「のぼり旗」を縫うボランティアを募集し、アーティストの中崎透、アサノコウタが滞在しながら指導にあたり工場が運営された。

主催：札幌駅前地区活性化委員会

まが梅桑 し取のの たれ実実 。

有門 正太郎 Shotaro Arikado

日本(福岡) / 演劇 / 2015.7.1 - 9.1 / 公演 *1

永井 希依彦 Kiyohiko Nagai

日本(東京) / 文化芸術・政策 / 2015.7.4 - 7.6 / 事業評価

高橋 季里 Kiri Takahashi

日本(帯広) / 美術 / 2015.7.19 - 7.22 / リサーチ

平塚 直隆 Naotaka Hiratsuka

日本(長野) / 演劇 / 2015.7.25 - 9.1 / 制作 *9

松本 花音 Kanon Matsumoto

日本(東京) / 演劇 / 2015.7.1 - 7.7 / 公演 / 岡崎藝術座 / ほか4名 *2

永田 壮一郎 Soichiro Nagata

日本(東京) / 音楽 / 2015.7.9 - 7.11 / 制作

菊地 英登 Hideto Kikuchi

日本(千葉) / 演劇 / 2015.7.20 - 8.23 / 公演 *5

永岡 大輔 Daisuke Nagaoka

日本(東京) / 美術 / 2015.7.29 - 8.4 / ワークショップ *10

内山 幸子 Sachiko Uchiyama

日本(大阪) / 美術 / 2015.7.3 - 7.5 / リサーチ

鹿野 英恵 Hanae Shikano

日本(江別) / 美術・デザイン / 2015.7.11 - 7.12 / 制作 / ソツテン制作委員会 / ほか31名 *3

三東 瑠璃 Ruri Mitou

日本(東京) / 舞踏 / 2015.7.22 - 7.28 / 公演 / ほか1名 *6

アートキャンプ参加者18名 18 participants in the art camp

市内小・中学生対象のワークショップ / 2015.7.31 - 8.2 *10

熊谷 薫 Kaoru Kumagai

日本(神奈川) / 文化芸術・政策 / 2015.7.4 - 7.6 / 事業評価

吉田 夏奈 Kana Yoshida

日本(神奈川) / 美術 / 2015.7.15 - 7.27 / 制作 *4

中崎 透 Tohru Nakazaki

日本(茨城) / 美術 / 2015.7.27 - 8.9 / 制作 *7 *8

■*1 12人の怒れる男 / 生活支援型文化施設 コンカリーニョ / 2015.8.13 - 8.23 ■*2 +51 アビアシオン、サンボルハ / 扇谷記念スタジオシアター ZOO / 2015.7.4 - 7.5 ■*3 「札幌×デザイン」学生向けワークショップ / 天神山AS / 2015.7.11 - 7.12
■*4 フルメリアに映る雪 / モエレ沼公園 ガラスのピラミッド / 2015.7.25 - 8.30 ■*5 プレーメンの自由 / 扇谷記念スタジオシアター ZOO / 2015.8.15 - 8.22 ■*6 ふりつけか展 / 札幌市教育文化会館 / 2015.7.26 ■*7 Phantom Meeting ~霧の中、雪のないあの雪山、きっと僕はすれ違った~ / salon cojica / 2015.8.1 - 8.29 ■*8 さっぽろ八月祭2015 / 札幌市北3条広場(アカブラ) / 2015.8.7-8.8 ■*9 12人の怒れる男 / 生活支援型文化施設 コンカリーニョ / 2015.8.13 - 8.23 ■*10 天神山アートキャンプ2015 / 天神山AS / 2015.7.31 - 8.2

07

JULY 2015

7.31-8.2 合宿型プログラム



天神山アートキャンプ2015

札幌市内の小学4年生～中学2年生を対象に、2泊3日の合宿型のワークショップを開催した。

参加人数：18名

講師：永岡 大輔（アーティスト）

*詳しくは天神山アートキャンプページ（14P）を参照

主催：札幌市 企画：さっぽろ天神山アートスタジオ

8.19-21 公開制作



石原 陽子 公開制作

滞在アーティスト、石原陽子が日頃から行っている鉛筆によるドローイングを公開制作という形で行った。壁面に貼られたドローイングは、はじめて第三者にも「線を描く」行為に参加してもらおう試みを行い、他の滞在者や来館者も描画することができるものになった。

近松 祐貴 Yuki Chikamatsu

日本（大阪）/ 演劇 / 2015.8.2 - 8.18 / 公演 *1

横湯 久美 Kumi Yokoyu

日本（東京）/ 美術 / 2015.8.4 - 8.7 / リサーチ

アサノ コウタ Cohta Asano

日本（福島）/ 美術 / 2015.8.5 - 8.9 / 制作 *2

山岸 清之進 Seinoshin Yamagishi

日本（神奈川）/ 美術 / 2015.8.5 - 8.9 / 制作 *2

小池 晶子 Akiko Koike

日本（福島）/ 美術 / 2015.8.6 - 8.9 / 制作 / ほか1名 *2

大石 桂誉 Yoshitaka Oishi

日本（岐阜）/ 美術 / 2015.8.7 - 8.11 / リサーチ

楠崎 真央 Mao Kusuzaki

日本（札幌）/ 美術・生態学 / 2015.8.7 - 8.10 / リサーチ / ほか3名 *3

ランス テイト Lance Tait

アメリカ / 文芸 / 2015.8.8 - 9.13 / 制作・リサーチ

酪農学園大学 Rakuno Gakuen University

日本（江別）/ 漫画・文芸 / 2015.8.11 - 8.13 / 制作 / 9名

多田 輝夫 Teruo Tada

日本（神奈川）/ 数学 / 2015.8.16 - 8.21 / リサーチ

アサダ ワタル Wataru Asada

日本（滋賀）/ 美術 / 2015.8.17 - 8.20 / 講演

濱田 竜也 Tatsuya Hamada

日本（愛媛）/ 美術 / 2015.8.17 - 8.23 / 講演

石原 陽子 Yoko Ishihara

日本（東京）/ 美術 / 2015.8.18 - 8.22 / 制作 *4

磯崎 道佳 Michiyoshi Isozaki

日本（ニセコ）/ 美術 / 2015.8.19 - 8/24 / 制作 *5

シド マリークラーク Sidd Murray Clark

スコットランド（兵庫）/ 美術 / 2015.8.21 - 8.25 / ワークショップ / ほか11名

川上 珠来 Tamaki Kawakami

日本（長野）/ 演劇 / 2015.8.22 - 8.26 / 公演 / ほか1名 *6

浅井 真理子 Mariko Asai

日本（埼玉）/ 美術 / 2015.8.22 - 8.30 / 制作・リサーチ *7

曾我 英子 Eiko Soga

日本（イギリス）/ 美術・音楽 / 2015.8.23 - 9.16 / リサーチ *8

小西 優子 Yuko Konishi

日本（大阪）/ 写真・書 / 2015.8.25 - 9.13 / リサーチ

岸 潤一郎 Zyunichiro Kishi

日本（東京）/ 演劇 / 2015.8.27 - 9.1 / 公演 / 劇団竹 / ほか9名 *9

吉田 夏奈 Kana Yoshida

日本（神奈川）/ 美術 / 2015.8.30 - 9.2 / 制作 *10

永田 壮一郎 Sohichiro Nagata

日本（東京）/ 音楽 / 2015.8.30 - 9.13 / 制作

08

AUGUST 2015

■*1 intro「蒸発」/ ターミナルプラザことに PATOS / 2015.8.6 - 8.14 ■*2 さっぽろ八月祭2015 / 札幌市北3条広場（アカブラ）/ 2015.8.7-8.8 ■*3 Epic / アイカップ自然史博物館 / 2015.8.1 - 8.30 ■*4 公開制作 / 天神山AS / 2015.8.18 - 8.22
■*5 牛鬼マキオパレード / 当別町（北海道）/ 2015.8.22 - 8.23 ■*6 12人の怒れる男 / 生活支援型文化施設コンカリーニョ / 2015.8.13 - 8.23 ■*7 つるつるのみちをとおってかなたをさわりに walk on the slippery road to touch the far in the distance / gallery COEXIST-TOKYO / 2015.11.14-11.29 ■*8 公開制作 / 天神山AS / 2015.9.15 ■*9 なまぬい沼 / 扇谷記念スタジオ アンター ZOO / 2015.8.29 - 8.30 ■*10 ブルメリアに映る雪 / モエレ沼公園 ガラスのピラミッド / 2015.7.25 - 8.30

9.15 公開制作



曾我 英子 公開制作

展示スペース内で滞在中のアーティスト曾我英子による公開制作(実験)を行った。同時期に滞在中の音楽家の音響機材(サンプラー)を借りて天神山AS内の道具や、スタジオ周辺の落ちていたもの、来館者の声や音を拾い、それらを材料に普段見えないものの可視化、可聴化を試みた。

機材協力: 永田 壮一郎

岡崎 乾二郎 Kanjiro Okazaki

日本(東京) / 美術 / 2015.9.4 - 9.6 / 講演 / ほか1名 *1

藤井 光 Hikaru Fujii

日本(東京) / 美術 / 2015.9.5 - 9.8 / 講演 *1

山本 卓卓 Takutaku Yamamoto

日本(東京) / 演劇 / 2015.9.9 - 9.13 / 公演 / 範囲遊泳 / ほか7名 *3

北海道情報大学 / 札幌市立大学 / 実践女子大学

Hokkaido Information University / Sapporo City University / Jissen Women's University

日本(神奈川) / 美術 / 2015.9.21 - 9.23 / 制作 *8

若林 克友 Katsutomo Wakabayashi

日本(山梨) / 美術 / 2015.9.17 - 9.20 - 9.27 - 10.2 / 制作 *4

高石 晃 Akira Takaishi

日本(東京) / 美術 / 2015.9.20 - 9.25 / 制作 *8

千葉 麻十佳 Madoka Chiba

日本(ドイツ) / 美術 / 2015.9.26 - 10.9 / 制作 *10

9.20 トーク



ネットワーキング アーティスト・トーク

台湾台南市の公立アートセンター、Soulangh Cultural Parkの選考を経て、ネットワーキングの一環で天神山ASに派遣されたチャーミン・ファンによるアーティスト・トークをArt & Breakfast Day内で行った。

服部 浩之 Hiroyuki Hattori

日本(青森) / 美術・写真 / 2015.9.4 - 9.6 / 講演 *1

帯川 将之 Masayuki Obikawa

日本(旭川) / 写真 / 2015.9.5 - 9.6・9.12 - 9.13 / 制作 / ほか2名

坂田 公明 Komei Sakata

日本(埼玉) / 工芸 / 2015.9.9 - 9.11 / 制作 / ほか5名

黒田 大祐 Daisuke Kuroda

日本(広島) / 美術 / 2015.9.15 - 9.18 / 制作

野口 あや子 Ayako Noguchi

日本(愛知) / 文芸 / 2015.9.15 - 9.25 / 制作

ホリィ ワーバートン Holly Warburton

イギリス / 美術・写真 / 2015.9.17 - 9.22 / 制作 *5 *6 *7

石井 太介 Daisuke Ishii

日本(神奈川) / 美術 / 2015.9.21 - 9.23 / 制作 *8

高野 織衣 Oriie Takano

日本(富山) / 美術 / 2015.9.27 - 10.23 / リサーチ / ほか1名

磯崎 道佳 Michiyoshi Isozaki

日本(ニセコ) / 美術 / 2015.9.4 - 9.6 / 制作

日沼 禎子 Teiko Hinuma

日本(東京) / 美術 / 2015.9.5 - 9.6 / 講演 *1

渡辺 元佳 Motoka Watanabe

日本(東京) / 美術 / 2015.9.11 - 9.13 / リサーチ

三角 みづ紀 Mizuki Misumi

日本(埼玉) / 文芸 / 2015.9.15 - 9.25 / 制作

小西 優子 Yuko Konishi

日本(大阪) / 写真・書 / 2015.9.15 - 9.25 / リサーチ / ほか2名

加納 俊輔 Shunsuke Kano

日本(京都) / 美術 / 2015.9.19 - 9.26 / 制作 *8

納谷 真大 Masatomo Naya

日本(富良野) / 演劇 / 2015.9.23 - 12.6 / 公演 *9

曾我 英子 Eiko Soga

日本(イギリス) / 美術・音楽 / 2015.9.30 - 10.23 / リサーチ *11

近藤 健史 Kenji Kondo

日本(兵庫) / 美術 / 2015.9.5 - 9.6 / リサーチ

雨森 信 Nov Amenomori

日本(大阪) / 美術 / 2015.9.6 - 9.8 / 講演 *1

チャーミン ファン Chia-Min Fuang

中国(フランス) / 美術 / 2015.9.11 - 10.31 / 制作 / Soulangh Cultural Park (台湾) とのネットワーキングによるアーティスト

藤本 正則 Masanori Fujiki

日本(旭川) / 美術 / 2015.9.16 - 9.17 / 制作

早川 祐太 Yuta Hayakawa

日本(東京) / 美術 / 2015.9.20 - 9.25 / 制作 *8

畑田 典子 Noriko Hatada

日本(札幌) / 工芸 / 2015.9.23 - 9.30 / 制作

■*1 Public Art Research Center 5 [PARCS : Meeting Table] / 札幌駅前地下歩行空間 / 2015.9.2 - 9.6 ■*3 幼女Xの人生で一番楽しい数時間 / 生活支援型文化施設 コンカリーニョ / 2015.9.11 - 9.12 ■*4 節展 / 六花亭福住店 / 2015.10.1 - 11.30
■*5 未踏路 / 東川町文化ギャラリー / 2015.9.13 - 24 ■*6 SAPPORO ART MAP 3 / 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 / 2015.9.26-2016.1.22 ■*7 WAKKA ウルズの泉 / モエレ沼公園 ガラスのピラミッド / 2015.10.12 ■*8 早川祐太×高石晃×加納俊輔 [三つの体、約百八十兆の細胞] / 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 / 2015.9.26 - 2016.1.22 ■*9 「どう、しよう、も、ない」 / サンピアザ劇場 / 2015.11.18 - 11.22 ■*10 光を散写する Tracing Light / 天神山AS / 2015.10.3 - 10.8
■*11 公開制作 / 天神山AS / 2015.9.15

10.3 - 10.8 展示



光を敷写する / Tracing Light

滞在アーティスト千葉麻十佳が日光をレンズで収束させて石を溶かすパフォーマンスの映像作品(中之条ビエンナーレ2015出展作品)と天神山AS滞在中に制作した新作の写真作品を展示した。

紅葉と
初雪、
10月25日。

10.11 - 10.12 イベント



天神山文化祭2015

地域の連合町内会「いきいき南平岸」との共催で昨年に引き続き開催した。今年度は、Soulangh Artist Village(台南市、台湾)とのネットワーキングアーティストによるワークショップ、地域プログラムとして開始した「わたしたちの身近にあって私たちに必要なもの、アイヌ民族と鮭(レクチャー&ワークショップ)」を天神山ASのからの企画として組み込んだ。

※詳しくは天神山文化祭ページ(15P)を参照

主催:札幌市 共催:まちづくり会「いきいき南平岸」

撮影:岸野友遊

前田 司郎 Shirou Maeda

日本(東京) / 演劇 / 2015.10.2 - 10.4 / 公演 *1

アンディ シュミート Andi Schmie

ハンガリー / 美術 / 2015.10.8 - 12.26 / 制作 / S-AIR
招聘アーティスト *2 *3

コルネット マルゴ Colinet Margot

フランス / 言語学 / 2015.10.9 - 10.15 / リサーチ

永岡 大輔 Daisuke Nagaoka

日本(東京) / 美術 / 2015.10.10 - 10.13 / 講演 *4

田村 隆 Takashi Tamura

日本(札幌) / 工芸 / 2015.10.15 - 10.29 / 制作

ニシコ Nishiko

日本(オランダ) / 美術 / 2015.10.16 - 10.20 / リサーチ

渡辺 元佳 Motoka Watanabe

日本(東京) / 美術 / 2015.10.16 - 10.18 / リサーチ

ドリアン ケイヴ Dorian Cavé

フランス(中国) / 美術・映像・文芸 / 2015.10.17 - 11.8 / 制作 *5

リリアン シャウベ Lilian Chaubert

フランス / 建築・デザイン / 2015.10.18 - 11.5 /
リサーチ *5

鶴見 千佳代 Chikayo Tsurumi

日本(札幌) / 美術 / 2015.10.18 - 10.19 / リサーチ

鈴木 悠哉 Yuya Suzuki

日本(ドイツ) / 美術 / 2015.10.20 - 12.26 / 制作 *6 *7 *8

藤木 正則 Mananori Fujiki

日本(旭川) / 美術 / 2015.10.21 - 10.23 / リサーチ

ジェシーリーパーカー Jesse Lee Parker

アメリカ(東京) / タオヨガ / 2015.10.21 - 10.29 / ワーク
ショップ / ほか2名

イダ ローレンス Ida Lawrence

オーストラリア / 美術 / 2015.10.24 - 11.24 / 制作 /
ほか1名 *9

澤村 喜一郎 Kiichiro Sawamura

日本(京都) / 演劇 / 2015.10.29 - 11.4 / 公演 / ニット
キャップシアター / ほか11名 *10

入江 早耶 Saya Irie

日本(広島) / 美術 / 2015.10.29 - 11.8 / 制作 *11

10
OCTOBER 2015

■*1 悪い天気 / かでの2・7 / 2016.1.29 - 1.31 ■*2 アンディ・シュミート展覧会 / 北海道教育大学アーツ&スポーツ複合施設 HUG / 2015.12.5 - 12.6 ■*3 On Sleeping Text and Image / salon cojica / 2015.12.15 - 12.26 ■*4 天神山アート
キャンプ2015 / 天神山AS / 2015.7.31 - 8.2 ■*5 PACHINKO PHENOMENOLOGY / パチンコの現象学 / 天神山AS / 2016.1.17 - 1.28 ■*6 耕作と歩行 walk and cultivation / CAIO2 / 2016.2.6 - 2.27 ■*7 耕作と歩行 walk and cultivation / salon cojica /
2016.2.12 - 2.27 ■*8 500m 美術館 vol.17 500m ーターズプロジェクト 003 スズレ展 / 札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館 / 2016.1.30 - 3.25 ■*9 Dancing Fish Flakes and Other Hallucinations / 踊るカツオ節と幻覚 / 天神山AS / 2015.11.20 - 11.23
■*10 こんなにもお茶が美味しい / 生活支援型文化施設 コンカリーニョ / 2015.11.1 - 11.3 ■*11 さっぽろアートステージ2015 / 札幌駅前通地下歩行空間 / 2015.11.7 - 12.26

11.8 イベント

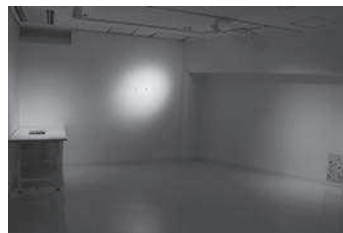


よみしばい「よだかの星」

滞在中の劇団Theater Ortによる「よみかかせ」の気軽さと「おしばい」の迫力を合わせた、「よみしばい」を行った。俳優が本を片手に、言葉では想像力をガイドし、身体では臨場感を演じ、テンポよく物語を進行させた。

原作：宮沢賢治 / 演出：倉迫康史 / 出演：小林至、平佐喜子

11.20 - 11.23 展示



Dancing Fish Flakes and Other Hallucinations / 踊るカツオ節と幻覚

滞在アーティスト、イダ・ローレンスによる、日本各地でのリサーチ活動とさっぽろ天神山アートスタジオでの滞在で得た所感を写真への描画を用いて展示、構成を試みた。

11.29 ワークショップ



物事の"音"をズラす

滞在アーティスト、鈴木悠哉が出演した500m美術館(札幌)での"ズレ"をテーマした企画展のワークショップを天神山ASで開催した。

企画・運営・主催：500メーターズ

山崎 阿弥 Ami Yamasaki

日本(東京) / 美術 / 2015.11.3 - 11.10 / 制作 *1

鹿田 義彦 Yoshihiko Shikada

日本(広島) / 写真 / 2015.11.5 - 11.10 / 制作 *1

坂本 大三郎 Daizaburo Sakamoto

日本(山形) / その他(山伏) / 2015.11.12 - 11.13 / リサーチ

ドリアン ケイヴ Dorian Cavé

フランス(中国) / 美術・映像・文芸 / 2015.11.29 - 12.27 / 制作 *6

倉迫 康史 Yasufumi Kurasako

日本(東京) / 演劇 / 2015.11.4 - 11.10 / 公演 / Theatre Ort / ほか8名 *2 *3

田村 隆 Takashi Tamura

日本(札幌) / 工芸 / 2015.11.8 - 12.5 / 制作

とんぼせんせい Tonbosensei

日本(京都) / デザイン / 2015.11.12 - 11.14 / リサーチ / ほか1名

小川 希 Nozomu Ogawa

日本(東京) / 美術 / 2015.11.29 - 12.1 / 招聘 / 国際公募プログラム2015審査員

川村 元紀 Motonori Kawamura

日本(東京) / 美術 / 2015.11.5 - 11.8 / 制作 *4

ジュリアン マコーネル Julien McConell

スペイン / 美術 / 2015.11.8 - 11.11 / リサーチ / ほか1名

三角 みづ紀 Mizuki Misumi

日本(埼玉) / 美術 / 2015.11.15 - 11.26 / 制作 *5

アンカ ミヒュレット Anca Mihulet

ルーマニア / 美術 / 2015.11.29 - 12.20 / 講演 / S-AIR招聘キュレーター

唐仁原 恵 Megumi Tojinbara

日本(京都) / 美術 / 2015.11.5 - 11.8 / 制作 *4

黒田 大祐 Daisuke Kuroda

日本(広島) / 美術 / 2015.11.8 - 11.13 / 制作 *4

大風呂敷工場 Big wrapping cloth factory

日本(札幌) / 美術 / 2015.11.21 - 11.22 / 制作 / 8名

磯崎 道佳 Michiyoshi Isozaki

日本(東京) / 美術 / 2015.11.29 - 12.1 / 招聘 / 国際公募プログラム2015審査員

■*1 さっぽろアートステージ2015 / 札幌駅前通地下歩行空間 / 2015.11.7 - 12.26 ■*2 よだかの星 / 天神山AS / 2015.11.5 ■*3 想稿・銀河鉄道の夜 / 扇谷記念スタジオシアター ZOO / 2015.11.6 - 11.8 ■*4 透明の風景 / 札幌市資料館 / 2016.2.19 - 3/21 ■*5 アートフェア札幌 2015 / クロスホテルサッポロ / 2015.11.22 - 11.23 ■*6 PACHINKO PHENOMENOLOGY / パチンコの現象学 / 天神山AS / 2016.1.17 - 1.28

12.11 - 12.13 合宿型プログラム



AIR キャンプ 2015

北海道、札幌でアーティスト・イン・レジデンス事業 (AIR) を行う S-AIR 主催による2泊3日の合宿形式ワークショップを開催。国内外のAIR運営者やアーティストを講師に迎え、これからAIRを始めた人や団体、自治体など幅広い人が参加した。

主催：NPO法人 S-AIR

企画運営協力：さっぽろ天神山アートスタジオ

12.12 イベント



市民によるチェロ、ヴァイオリン発表会

札幌や旭川でチェロ、ヴァイオリンを教えているスズキ・メソッド札幌支部山田クラスの父母会企画による受講生徒の演奏発表会を開催した。発表は1階の交流サロン、談話交流スペースで行い、他の来館者も自由に聴くことができるように行った。

12.17 イベント



ポートフォリオプレゼン会

S-AIRにより招聘されたキュレーターズネットワークの中心メンバーであり、ルーマニアを代表するキュレーターの1人、アンカ・ミヒュレットと地元アーティストとの交流の機会として、ポートフォリオのプレゼン会を開催した。前半は希望者に個別に面談の時間を設け、後半は参加者全員を前にポートフォリオの映像投影とプレゼンを行った。地元アーティスト同士でも意見交換などが盛んに行われた。

到卓 着球 。台

藤井 ヨシカツ Yoshikatsu Fujii

日本(広島) / 写真 / 2015.12.3 - 12.8 / 講演・ワークショップ*1

川村 元紀 Motonori Kawamura

日本(東京) / 美術 / 2015.12.5 - 12.8 / 制作*2

アレイシュプラデムント Aleix Plademunt

スペイン / 写真 / 2015.12.6 - 12.11 / リサーチ

田村 隆 Takashi Tamura

日本(札幌) / 工芸 / 2015.12.6 - 12.28 / 制作

AIR キャンプ参加者16名

16 participants in the AIR Camp

アーティスト・イン・レジデンス事業人材育成研修 / 2015.12.11 - 12.13*3

川鍋 達 Tatsushi Kawanabe

日本(高知) / 美術 / 2015.12.13 - 12.15 / リサーチ

レク ローレンス Lek Lawrence

イギリス / 美術 / 2015.12.15 - 12.19 / リサーチ

12

DECEMBER 2015

■*1 Sapporo Photo / 眺望ギャラリーテラス計画(赤レンガテラス内) / 2015.12.4 - 12.17 ■*2 さっぽろアートステージ2015 / 札幌駅前通地下歩行空間 / 2015.11.7 - 12.26 ■*3 AIR キャンプ 2015 / さっぽろ天神山AS / 2015.12.11 - 12.13

1.10 ワークショップ



アーティストとリンゴの絵を描こう！ ～おもてなしの樹にリンゴを实らせる～

豊平区との連携企画。豊平区のシンボルの一つであるリンゴをモチーフに、滞在アーティスト鈴木悠哉と小学生以下の子どもたちが、リンゴの木に見立てた看板をいっしょに制作した。地域有志によるリンゴのお菓子作りも行い来館者に振る舞われた。

1.17 - 1.31 展示



PACHINKO PHENOMENOLOGY / パチンコの現象学

2015年秋に滞在したリリアン シャウベとドリアン ケイヴによるリサーチの成果発表。日本文化の中で特に興味を持った「パチンコ」をテーマにした。天神山ASでの滞在后、山梨県のAIR施設[AIRY]に移動したリリアンが現地で発表したものをドリアンが天神山ASで再構成した。

1.31 イベント



さっぽろ冬のバカンス2016 オープニング

国際公募プログラムの招聘アーティスト3名(ボート・シャオチュアン・チャン、潘逸舟、イナ・クウォン)によるアーティスト・トークを行った。前半はそれぞれの作品と活動についてのトーク、後半は聞き手に国際公募の審査員磯崎道佳を迎え、天神山ASに滞在中の活動について話を聞いた。

雪
が
少
な
い
。
い
つ
も
よ
り

ジン ハオファン Jin Haofan

中国 / 美術 / 2016.1.5 - 3.2 / 制作 / ほか1名 / Stellour Course (中国)とのネットワークによるアーティスト *1

鈴木 悠哉 Yuya Suzuki

日本 (ドイツ) / 美術 / 2016.1.6 - 2.3 / 制作 *2 *3 *4

インゲトリネケン Inge Trienekens

オランダ / 写真 / 2016.1.6 - 4.6 / リサーチ *5

前田 司郎 Shirou Maeda

日本 (東京) / 演劇 / 2016.1.8 - 1.26 / 公演 / ほか3名 *6

ドリアン ケイヴ Dorian Cavé

フランス (中国) / 美術・映像・文芸 / 2016.1.11 - 2.20 / 制作 *7

黒田 大祐 Daisuke Kuroda

日本 (広島) / 美術 / 2016.1.15 - 2.19 / 制作 *8

イナクウォン Ina Kwon

ドイツ / 美術 / 2016.1.19 - 2.23 / 制作 / 冬のバカンス 招聘アーティスト *9

ビバリー スミス キーリング Beverly Smith Keiling

アメリカ / 美術 / 2016.1.19 - 3.9 / 制作・リサーチ / ほか1名 *10

チュアントラン Tuan Tran

ベトナム / 美術 / 2016.1.26 - 3.27 / 制作 / S-AIR 招聘アーティスト *11

ボート シャオチュアン チャン Boat Xiaochuan Zhang

中国 / 写真・美術 / 2016.1.27 - 3.18 / 制作 / 冬のバカンス 招聘アーティスト *9

潘逸舟 Ishu Han

中国 (東京) / 美術 / 2016.1.30 - 2.22 / 制作 / ほか1名 / 冬のバカンス招聘アーティスト *9

■*1 Good Night, Idiot. / 天神山AS / 2016.3.20 - 3.30 ■*2 耕作と歩行 walk and cultivation / CAI02 / 2016.2.6 - 2.27 ■*3 耕作と歩行 walk and cultivation / salon cojica / 2016.2.12 - 2.27 ■*4 500m 美術館 vol.17 500メーターズプロジェクト 003 ズレ展 / 札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館 / 2016.1.30 - 3.25 ■*5 Sapporo Section 3: Photo [記憶と記録の札幌] / 札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館 / 2016.4.2 - 6.29 ■*6 悪い天気 / かでる 2・7 / 2016.1.29 - 1.31 ■*7 PACHINKO PHENOMENOLOGY / パチンコの現象学 / 天神山AS / 2016.1.17 - 1.28 ■*8 透明の風景 / 札幌市資料館 / 2016.2.19 - 3/21 ■*9 さっぽろ冬のバカンス2016 / 天神山AS / 2016.1.31 - 2.21 ■*10 Transformation / 天神山AS / 2016.3.5 - 3.6 ■*11 Tuan Tran and Sophal Neak Exhibition / 北海道教育大学アーツ&スポーツ複合施設 HUG / 2016.3.12 - 3.20

01
JANUARY 2016

2.6 イベント



さっぽろ冬のバカンス2016 天神山スポーツバイキング

豊平区の子供を対象としたウィンタースポーツの体験ができるスポーツイベントをさっぽろ冬のバカンスの一環として開催。イベント中に滞在中のピバリー・S・キーリングによるワークショップも行った。

主催：豊平区(市民部地域振興課)

協力：さっぽろ天神山アートスタジオ、NPO法人北海道スポーツコンシェルジュ

で雪新除
き山し雪
たがいか
ら

2.10 トーク



ネットワーキング アーティスト・トーク

中国、深圳市のアートセンター Stellour Course とのネットワーキングの一環として派遣されてきたジン・ハオファンとディ・ファンによる中国と深圳市のアートシーンについてのレクチャーとそれぞれの作品についてトークを行った。

2.21 イベント



Art & Breakfast Day International

さっぽろ冬のバカンス2016の開催期間中(1.31-2.21)は、毎週末Art & Breakfast Dayを開催。最終日の21日にはゲストアーティストとしてプロジェクト提唱者の三田村光土里を迎え、世界各国で同日にArt & Breakfast Dayを行うInternational版として開催した。

ソパル ニーク Sophal Neak

カンボジア / 美術 / 2016.2.2 - 3.23 / 制作 / S-AIR 招聘アーティスト *1

角 裕美 Yasumi Sumi

日本(東京) / 舞踊 / 2016.2.4 - 2.7 / リサーチ *2 *3

三田村 光土里 Midori Mitamura

日本(東京) / 美術 / 2016.2.20 - 2.25 / 講演 / 冬のバカンス 招聘アーティスト *5

永岡 大輔 Daisuke Nagaoka

日本(東京) / 美術 / 2016.2.28 - 2.29 / リサーチ

トマツ タカヒロ Takahiro Tomatsu

日本(東京) / 舞踊 / 2016.2.3 - 2.13 / 公演 *2 *3

モニカ ユンカー Monika Junker

ドイツ / 写真 / 2016.2.16 - 3.13 / 制作

藤木 正則 Masanori Fujiki

日本(旭川) / 美術 / 2016.2.21 - 2.26 / 制作

松本 力 Chikara Matsumoto

日本(東京) / 美術 / 2016.2.28 - 2.29 / リサーチ

ベッティーナ バーガー Bettina Berger

スイス / 音楽 / 2016.2.3 - 2.13 / 公演 *2 *3

アイザック イマニュエル Isak Immanuel

アメリカ / 舞踊 / 2016.3.6 - 3.16 / 制作 / ほか1名

永田 壮一郎 Soichiro Nagata

日本(東京) / 音楽 / 2016.2.23 - 2.28 / 制作

本田 蒼風 Sohu Honda

日本(東京) / デザイン / 2016.2.28 - 3.2 / リサーチ

ダニエル ロレンゾ Daniel Lorenzo

スペイン / 音楽 / 2016.2.3 - 2.13 / 公演 *2 *3

吉川 彰浩 Akihiro Yoshikawa

日本 / 福島 / その他 / 2016.2.19 - 2.21 / 講演 *4

ティム ソートン Tim Thornton

イギリス(東京) / 神奈川 / 2016.2.25 - 3.1 / 制作 / ほか1名

山内 悠 Yu Yamauchi

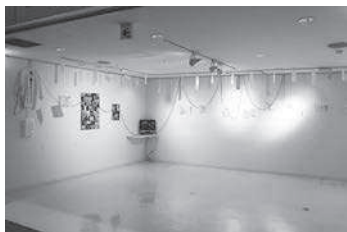
日本(長野) / 写真 / 2016.2.28 - 3.1 / リサーチ

02

FEBRUARY 2016

■*1 Tuan Tran and Sophal Neak Exhibition / 北海道教育大学アーツ&スポーツ複合施設 HUG / 2016.3.12 - 3.20 ■*2 日×歌 身体と音の訪問者 THE VISITOR OF BODY SOUND / ターミナルプラザことにパトス / 2016.2.6 ■*3 NEXT ERA NORTH / PRECIOUS HALL / 2016.2.11 ■*4 シリーズ「福島に生きる」Vol.2「福島の“今”」/ モリヒコ プランテーション3 F グルニエ / 2016.2.20 ■*5 さっぽろ冬のバカンス2016 / 天神山AS / 2016.1.31 - 2.21

3.5 - 3.6 展示



Transformation

天神山ASのイベントプログラムに合わせて数回行ったストーリーテリングの手法を用いて、ビバリー・S・キーリングがワークショップの成果を発表。3月6日には、ビバリーのアーティスト・トークと、彼女のパートナーでありオーロラの研究者のアンドレアス(科学者)によるオーロラトークも行った。

3.25 - 3.27 展示



A Study on Yohaku-no-bi, audio visual Installation for a tea house

ドイツのサウンドアーティスト、メラニー・ヴィンドルが興味を持つテーマ“余白の美”の追究の一つとしてインスタレーション作品を展開。日本を予感させる要素を記号として散りばめながら“余白”の顕在化を試みた。

高間響 Hibiki Takama

日本(京都) / 演劇 / 2016.3.2 - 3.6 / 公演 / 笑いの内閣 / ほか17名

メラニー ヴィンドル Melanie Windl

ドイツ / 美術 / 2016.3.13 - 3.30 / 制作 *5

魅嚙 MIKA Mika Mikami

日本(日本) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

一之瀬 ちひろ Chihiro Ichinose

日本(東京) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

藤木 正則 Masanori Fujiki

日本(旭川) / 美術 / 2016.3.15 - 3.28 / ワークショップ *4

八巻 真哉 Shinya Yamaki

日本(京都) / 美術 / 2016.3.26 - 3.28 / 講演 *5

ジン ハオファン Jin Haofan

中国 / 美術 / 2016.3.6 - 4.2 / 制作 / ほか1名 / Stellour Course (中国)とのネットワーキングによるアーティスト *2

石山 ひなの Hinano Ishiyama

日本(札幌) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

佐藤 拓実 Takumi Sato

日本(神奈川県) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

山本 法子 Noriko Yamamoto

日本(兵庫) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

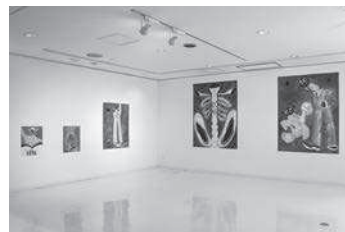
中村 絵美 Emi Nakamura

日本(福井) / 美術 / 2016.3.18 - 3.19 / ワークショップ *4

正木 なお Nao Masaki

日本(長野) / 美術 / 2016.3.26 - 3.30 / 制作 *6

3.20 - 3.30 展示



Good Night, Idiot.

ネットワーキングによる滞在アーティスト、ジン・ハオファンによる滞在成果発表展。滞りのなかで感じたこと、ほかの滞在者、来館者との交流のなかで生まれたものを描いた新作の絵画作品を展示した。

3.15 - 3.29 合宿型プログラム



アートとリサーチ 北海道の旅とプロジェクトのプランの作成、アーカイブ・ワークショップ

札幌国際芸術祭(SIAF)関連事業として開催。15日間にわたり実施された合宿型プログラム。公募から選ばれた11名の道内外の若手アーティストが、北海道内でリサーチの旅を行った。講師とのチュートリアルを重ねる講評会、活動報告をSIAFラボ(札幌市資料館)で実施した。

山崎 阿弥 Ami Yamasaki

日本(東京) / 美術 / 2016.3.11 - 3.30 / 制作 / アートとリサーチ参加者 *3 *4

安田 千皓 Chihiro Yasuda

日本(札幌) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

新谷 健太 Kenta Shinya

日本(石川) / 美術 / 2016.3.15 - 3.30 / アートとリサーチ参加者 *4

島袋 道浩 SHIMABUKU

日本(ドイツ) / 美術 / 2016.3.15 - 3.28 / ワークショップ *4

村田 真 Makoto Murata

日本(東京) / 美術 / 2016.3.26 - 3.28 / ワークショップ・講演 *4 *5

納谷 真大 Masatomo Naya

日本(富良野) / 演劇 / 2016.3.29 - 6.29 / 公演

■*1 第22次笑の内閣『朝まで生ゴザラ2020』/ 扇谷記念スタジオシアター ZOO / 2016.3.4 - 3.6 ■*2 Good Night, Idiot. / 天神山AS / 2016.3.20 - 3.30 ■*3 500m美術館 vol.17 The 4th Sapporo 500m Gallery Award! Exhibition / 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 / 2016.1.30 - 3.25 ■*4 アートとリサーチ 北海道の旅とプロジェクトのプランの作成、アーカイブ・ワークショップ / 天神山AS、札幌市資料館ほか / 2016.3.15 - 3.29 ■*5 SIAFラボの年度未だよ。大集合! - 専門家と考える2日間 / 札幌市資料館 SIAF ラウンジ / 2016.3.26 - 3.27 ■*6 太陽系時空間地図 地球暦 HELIO COMPASS 2016 / エリエールスクエア 渡辺淳一文学館 / 2016.3.27



さっぽろ天神山アートキャンプ2015

今年度からの取り組みとして、札幌市内に住む小学4年生～中学2年生の子どもたちを対象に、夏休み期間中を利用した合宿型のワークショップ(2泊3日)を行った。通学している学校や年齢が異なった18人の子どもたちが参加した。

ワークショップの講師には、アーティストの永岡大輔を迎え、コマ撮りアニメーションの技法を利用し、子どもたちと映像作品を制作しながら、3日間の生活を共にした。子どもたちが、アーティストの持つ考え方や生き方に触れることで、未知なるもの、またはすでにになにかあるものへの興味・関心をより深め、新たな価値観や視点を日常へと持ち帰る体験を提供することを目的に実施した。また、同時期には、別な滞在者や大風呂敷工場(P05参照)で地域の縫い子ボランティアの方々をはじめとした人たちと出会うことができ、天神山緑地から見える花火大会の鑑賞やボランティアの方にも協力していただいた流しソーメンなど、メインとなるワークショップのほかにも子どもたちの記憶に残る夏になるようプログラムを工夫した。

2015年10月に行われた天神山文化祭では、アートキャンプの報告会も兼ねて子どもたちがキャンプ中に制作した作品の上映と永岡大輔によるトークを行い、参加した子どもたちが当時の体験を強く心に蘇らせることができるような機会を設けた。

天神山アートキャンプ2015

開催日時：2015.7.31(金) - 8.2(日)
 参加者：札幌市内小・中学生 18名
 主催：札幌市
 企画：さっぽろ天神山アートスタジオ
 機材協力：吉岡 隆



©Kei Tanaka

ワークショップ講師

永岡 大輔

1973年山形県生まれ、東京都在住。Wimbledon School of Art 修士終了後、国内外にて個展・グループ展による発表多数。記憶と身体との関係性を見つめながら、想像の瞬間を捉える実験的なドローイングや、鉛筆の線面を早回ししたアニメーション作品を制作。現在、朗読体験を通じて人々をつなげるプロジェクト[Re-constellation]に取り組み、映像、公演等様々な表現活動を展開している。

<http://daisukenagaoka.jimdo.com>

<担当スタッフ>(五十音順)

漆 崇博 / 杉本 直貴

<アシスタント>

大橋 鉄郎 / 金津 麟太郎 / 福原 明子 / 眞木 裕太

<ボランティアスタッフ>

秋保 沙央里 / 石山 ひなの / 川島 章 / 川成 由 / 都築 ひろ美 / 手代木 優 / 南 沙樹 / 安田 千皓



撮影：岸野友造

第2回天神山文化祭

第1回天神山文化祭は、まちづくり会「いきいき南平岸」が南平岸の舗道を使って数年に渡り行っていたアートプレート展の実施会場としてさっぽろ天神山ASが使用できないか、という提案から始まった。それを受け、アートプレート展や散歩会といったまちづくり会の既存の活動を取り込み、地域製品の紹介や天神山ASの滞在アーティストによるワークショップの実施、地域住民の一芸披露の会等をわたしたちが企画し、新しいお祭りとして誕生した。第2回目となる今年は、より積極的に地域の方々と共同し文化祭を盛り上げていこうという狙いから、「ちいきの宝探し」というテーマを立てた。天神山ASの通常運営の中で出会うスタジオ利用者や天神山にやってくる一般の方々との間に、「文化祭」をきっかけにして関係性を築き、ワークショップへの参加や、運営に関わる人を増やした。また、今年度はまちづくり会の年間行事として文化祭の予算が組まれたことで、天神山ASは共催として文化祭の運営にあたることができた。

第2回天神山文化祭

開催日時：2015.10.11(日)、12(月・祝) 両日10:00～18:00

来館者数：11日-1192名 12日-1454名

主催：札幌市

共催：まちづくり会「いきいき南平岸」

企画・運営：さっぽろ天神山アートスタジオ

協力：南平岸まちづくりセンター

<アートによる地域活性化事業>

1. オープニングセレモニー (開会式、ピアノと歌)

末廣 仁志(まちづくり会「いきいき南平岸」代表)、木俣 克美(南平岸まちづくりセンター所長)、近藤 和雄(札幌市議会議員)、熊谷 淳(札幌市国際芸術担当部長)、松岡 亜弥子(ピアノ)、三浦 由美子(歌)

2. 音楽ワークショップ

山川 麻里子(南平岸在住)/童話、唱歌、懐かしの歌
参加者数:26名

3. あそびんピック (スポーツワークショップ)

北海道スポーツコンシェルジュ(清田区在住)/
スポーツチャンバラ、輪投げ等 参加者数:127名

4. 南平岸地区特産品紹介

花ときのこほそがい、久保バラ園、神楽珈琲店、シフォン亭ほやほや
豊平区のリンゴ、アップルバイ配布

5. 紙きりワークショップ

講師：Chia-Min HUANG(滞在アーティスト)
通訳：曾我 英子(滞在アーティスト)
参加者数:10名

6. レクチャー&ワークショップ

「わたしたちの身近にあってわたしたちに必要なもの」
講師：丹菊 逸治(北海道大学准教授)「アイヌ民族と鞋」参加者数:25名

7. うわさんぼ～まちの宝探し～

ガイド：末廣 仁志、山際 廣昭
(天神山緑地、天神藤、三吉神社、相馬神社等)参加者数:30名

8. アートキャンプ発表会

永岡 大輔(招聘アーティスト)
7/31-8/2に開催されたアートキャンプの活動成果発表会
参加者数:50名

9. 天神山芸能祭

参加者/兵頭 ニーナ(ロシア料理店ベチカ店長/南平岸在住)、都築 唯(澄川在住)、ファミスティ(大谷高校1年生4名)、岸 律子(南平岸在住)、鈴木 里美(中央区在住)、松田 順治(飛米建設株式会社代表取締役/南平岸在住)、郷 仁(郷統合療法研究会会長/豊平区在住)、加藤 勲(豊平区在住)、小原 昌子(清田区在住)

10. リンゴワークショップ

都築 ひろ美(南平岸在住)
豊平区のリンゴを使ったお菓子作り 参加者数:24名

11. キャンドルワークショップ

佐仲 泰輔(澄川在住)
オリジナルキャンドル作り 参加者数:40名

12. 生け花展示

早川 典子(澄川在住)
親子いけばな教室(交流スタジオ利用者の)講師、生徒による生け花作品の展覧会

13. アートプレート展

まちづくり会「いきいき南平岸」企画
参加校/東山小、平岸小、平岸高台小、平岸西小等
約200作品展示

さっぽろ冬のバカンス 2016

昨年に引き続き、2回目の開催となる冬季間のみ開催するアートプロジェクトです。国際公募で選ばれた3名のアーティストが国内外から集い、「冬・雪・都市」をテーマにしたアイデアから、それぞれの作品制作やリサーチをもとにしたプロジェクトを進めていきます。3名のアーティストの創造的な活動を軸に札幌の冬、私たちの生活をアーティストの視点に導かれながら見つめなおします。期間中の週末には、参加型イベント、ワークショップ、アーティスト・トーク、朝食を交えたアーティストと市民の交流会を開催します。また、アートスタジオの周辺では、創造的な除雪行為による面白い風景を見ることができます。同時期には、国際公募で選ばれた3名以外にも国内外から多くのアーティストが滞在しています。閉じこもりがちな季節、天神山緑地で雪のウォーキングを楽しみながらさっぽろ天神山アートスタジオで、アーティストと出会い、おひとりおひとりの冬のバカンスをほっこりと体験してください。

Sapporo is an unusual city where there are as many as 2 million residents living in a cold, snowy area which makes it one of the world's more unique cities. The winter in Sapporo is very snowy and residents are live in an environment which is totally different from the summer. Skills to cope with the heavy snow have been developed through dealing with the problems snow removal and snow damage. Urbanization was driven by the Sapporo Winter Olympics in 1972. Developments include road heating, underground passages and transportation infrastructure, winter entertainment including sports and snow festivals, as well as all sorts of creative activities to vitalize the city. Artists are invited to develop their ideas through work based on three key words:

Winter, Snow, a City.

The program offers a working environment for artists in winter and we hope that it leads to an experimental and creative community experience.

Artist in Residence Program 2016 WINTER
さっぽろ冬のバカンス 2016
2016.1.31 - 2.21

1.31 アーティスト・トーク	2.14 天神山スポーツバイキング
2.14 Art & Breakfast Day	2.7 クロージング・コーヒープレイク

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ
http://sapporoart.jp

主催：札幌市
企画・運営：さっぽろ天神山アートスタジオ
<アートによる地域活性化事業>

<通訳ボランティア>
ドヴィーニュ 仁央 / 佐藤 加奈子 / 榎 真弓 /
鈴木 光子 / 廣田 摩子 / 神保 知子 / 小田切 真理 /
山本 光穂 / 川手 麻衣子 / 千秋 美紀子 / 榎 彩香 /
森 雅美 / 木村 洋子 / 酒井 真理子 / 高瀬 隆子 /
高橋 幸恵 / 瀬戸 孝幸 / 遠藤 香織 / 高島 悠 / 石橋 裕

開催期間：2016.1.31 - 2.21

1. オープニング、アーティスト・トーク

1.31

アーティスト・トーク、オープン・ディスカッション
・ポート・シャオチュアン・チャン
・潘 逸舟
・イナ・クウォン
・磯崎 道佳 (美術家、聞き手)
参加者数：27名

2. 天神山スポーツバイキング

2.6

ウィンタースポーツ体験イベント。スノーキャリア (雪運び競争)、ほうきホッケー、アイスホッケー ショットゲーム、ミニスキー&玉入れ、フロアカーリングの5種目を体験。
主催：豊平区
協力：さっぽろ天神山アートスタジオ、NPO法人北海道スポーツコンシェルジュ
参加者数：55名

3. Art & Breakfast Day

2.7

滞在者との朝食会
参加者：18名

4. 招聘アーティストワークショップ

2.13

イナ・クウォン (ドイツ) のワークショップ『雪のミステリー白黒の世界で雪を描くには?』
...白黒の影絵の世界では、白い雪はどのように表現できるでしょうか? このワークショップでは、切り紙とビデオを用いて、雪が降って街が白く覆られていくようすを影絵で描き出します。
参加者数：13名

5. Art & Breakfast Day

2.14

滞在者との朝食会
参加者数：14名

6. 招聘アーティストパフォーマンス

2.14

ポート・シャオチュアン・チャン (中国) の雪の販売パフォーマンス。狸小路6丁目にて作家本人が道内各地で直接入手してきた新鮮な雪が小瓶につめられて登場! お土産にぴったりな一品となっております。北海道の冬の思い出と一緒におひとついかがですか?
場所：北海道札幌市中央区狸小路7丁目 (シアター・キノ、代々木アニメーション学院前)

7. 招聘アーティスト滞在制作成果の報告と発表

2.20

招聘アーティスト3名、その他現在滞在中のアーティスト、ゲストアーティストによる作品展示、パフォーマンス
・ポート・シャオチュアン・チャン
・潘 逸舟
・イナ・クウォン
・樋泉 綾子 (本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員、聞き手)
参加者数：58名

8. Art & Breakfast International

2.21

滞在者との朝食会
三田村 光土里 (ゲストアーティスト)
参加者数：66名

9. 招聘アーティストワークショップ vol.2

2.21

ポート・シャオチュアン・チャン (中国) のワークショップ『フードジュエリー作りワークショップ』
...ポートの作品「ティファニーで朝食を」に関連したフードジュエリー作りワークショップを開催します。みなさんが日常的に食べている豆類やナッツ類などを参加者各自で持参していただき、それらを使ってジュエリー作りに挑戦します。
参加者数：16名

10. クロージング・コーヒープレイク

2.21

それぞれの滞在を終えて札幌を去るアーティストの送別会を兼ねた交流会です。どなたでも参加できます。
参加者数：15名

Artist in Residence WINTER Program 2016 について

さっぽろ天神山アートスタジオは、国内外から滞在制作、リサーチのために移動してくるアーティストを13の滞在型スタジオで24時間から最大3ヶ月期間で受け入れています。滞在者のほとんどはセルフ・ファンディング(経費自己負担)で滞在制作をしています。

年に1度、国際公募によって彼らの活動にかかる経費の一部をサポートするプログラムを設け、今回が2度目でした。昨年度に比べ3倍近くに伸びた応募数に驚き、世界各地から札幌に向けられた強いモチベーションに励まされ、同時にプレッシャーも感じています。応募の条件には、札幌での滞在に当たり、テーマに沿って具体的な活動プランを作成し提出する規定があります。それに応えて国内外160名の応募者それぞれに興味深い提案や活動の計画を示してくれました。

今回選ばれた潘逸舟、イナ・クウォン、ポート・シャオチュアン・チャンの活動提案は2016のテーマであった「冬・雪・都市」へのアプローチもそれぞれに異なるものでした。札幌の人々には、「冬・雪・都市」はなじみ深すぎるテーマなので、いつも感じていることだったり、なにを考えながらここで暮らしているのかを、言葉に限らずいろいろな方法で伝えてほしい、そして、私たちと遭遇するある一時期をいっしょに働いたり生きたりするアーティストたちが、なにを思い、なにを考えて、なにををするのかにちょっと気持ちを向けてみてほしいと願っています。これまで抱えていたあたりまえのことがあたりまえではなくなるかもしれない。少しだけはめをはずしてもいいのかもしれない、人々がふとゆるんだ瞬間に立ち会おうを私は冬の間いつも妄想してにやけます。

雪がふる季節の札幌は、毎朝、いや、もっと短く一瞬で景色がかわっていきます。そんな雪の町に暮らしているのだから、春になって雪が溶けてしまうまでは、なんでもゆらいだり、変わってしまってもいいのです。

(AIRディレクター 小田井 真美)

2016 選考委員コメント 2015年11月の選考会を終えて

今回初めてさっぽろ天神山アートスタジオの国際公募プログラムの審査をやらせていただきました。まず驚いたのは、文字通り世界中から160名を超える多数の応募があったということ。僕は東京生まれ東京育ちの人間でして、恥ずかしながら今回お声がけいただくまで天神山アートスタジオの存在を知らませんでした。ごめんなさい。審査の前日に札幌入りし、街中でこたまご当地ビールを飲んで、真夜中に天神山に到着。雪が積もった山道を超スローペースでトボトボ登りつつ、世界のアーティストたちは、極東の島国、さらにその最北の大地にある、この雪山の上のレジデンスの存在をよくぞ知っていたなど、白い息を吐きながら感心したのでした。蓋を開けてみれば、さすがは世界から応募してきた強者ぞろい。大変レベルの高いプランが並び、難しい選考となりました。日本在住のアーティストの中から今回唯一選ばれた潘逸舟さんは、個人史に言及しながら政治的なアプローチを展開する注目の若手アーティスト。この真っ白な雪の大地にどのような足跡を刻んでくれるのか大変楽しみです。(小川 希 / アートセンター Ongoing ディレクター)

私が北海道に活動拠点を移した当初、毎年冬になると体を壊していました。ある冬、体調不良で医者に診てもらった時、診察を終え再診の時期を尋ねると、のんびりした主治医さんは明るく言いました。そーですね、また雪解けの頃に来て下さい。その言い方がおかしくて不安も忘れ何だか笑ってしまいました。北国では雪がすべてを覆ってしまいます。春まで数ヶ月様々なモノを隠してしまいます。それは厳しい生活をリセットしてくれますが、リセットされない/してはいけないモノもたくさんあるはず。時にアートは何かを露にする力があります。政治でも経済でもない方法で見えない物に形を与えます。今回の国際公募審査では、各国の作家プランから次の観点到注目していました。身体性に根ざした表現テーマ、強引で丁寧なリサーチ、未知数を含めたアウトプットの柔軟性。イナ・クウォンさんのリサーチ力は冬の札幌に新しい視点を提供してくれると思っています。何を見せてくれるのかとても楽しみです。(磯崎 道佳 / 美術家)

昨年第1回の公募では60名の応募だったところ、今回の応募は160名にのびりました。天神山アートスタジオの存在が広く認知されてきていることを感じます。その分、選考は悩ましいものになりましたが、「冬・雪・都市」というテーマのもと、世界中のアーティストが雪の札幌に思いを寄せながらつくったプランを眺め、それが実現したさまを想像するのは楽しい作業でした。

選考の観点はいくつかありましたが、札幌人である私としては、ストレンジャーであるアーティストが、この雪の街のどんな表情を引き出してくれるのか、というところに最も関心がありました。

中国人アーティスト、ポート・シャオチュアン・チャンさんのプランは、雪を札幌の「お土産」として販売するというものです。彼女のこれまでの作例を見ると、社会を批評的に見つめる力づいまいまざしが、シンプルで明快、かつユーモアをたたえた表現として現れているようです。今回も、消費社会や観光都市のありようへの批評を含みつつ、それを楽しく見せてくれそうな期待があります。(樋泉 綾子 / 本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員)



イナ・クウォン Ina KWON

1980年ハンブルグ(ドイツ)生まれ、現在はベルリン在住。グラフィックデザインとヴィジュアルアーツが活動分野であり、大学卒業後にはビルバオ(スペイン)、ヤンファンアイクアカデミー(オランダ)に所属し調査研究活動を行なった。リサーチを重ね、グラフィカルなマップや映像に転化してみせ、都市の史実や痕跡を浮かび上がらせる手法をとる。1972年に開催された冬季オリンピック札幌大会を題材に、オリンピックという国家事業の顛末を札幌の都市化とリンクさせるプロジェクトに向けたリサーチを行った。

主な活動歴：「Das mobile Landschaftsatelier」Kunsthau Dresden/ドレスデン、「NANJI TANKS」SeMA Nanji Gallery/ソウル、「trans2012_13」秋吉台国際芸術村 AIAV/山口など
<http://www.inakwon.de/works>



Five rings

2016

インスタレーション

協力：長谷川 朋美、長谷川 洋介・長谷川 とし子(長谷川金物店)、山本 謙一(建築家)、
藪谷 祐介(札幌市立大学 特任助教)、植田 俊(東海大学 札幌キャンパス 特任助教)

ミュンヘンオリンピックと札幌オリンピックは、どちらも1972年に開催されました。オリンピックは、単なる国際スポーツの祭典ではありません。メディアを通して、開催国の文化や風習が世界中の人々に向けて発信されるからです。また、オリンピックは都市の開発を助長するものでもあります。

札幌に着いた日はひどい吹雪でした。とても疲れていて、車の窓から暗闇に浮かぶ白い輪郭を眺めながら、すべてのものが雪に覆われていくのを心地よく感じていました。さまざまな境界がゆらいで消滅していくようでした。

1940年、日本はアジアで初めてオリンピック開催国となる予定でした。しかし、1937年に勃発した日中戦争の激化により、やむなく開催権を返上しました。札幌オリンピック公式報告書には、日本が開催権を返上した理由に、「戦争」という単語を使わず、まるで自然災害かなにか不可抗力の事態が起きたかのように、「ある事件が起こったため」とだけ書いてありました。

オリンピック時に建設された施設の一つは、現在も屋外スケートリンクとして利用されています。ペンキが剥げかかった木製のベンチの上に雪がうず高く積もっていました。リンクは園児のスケート教室で賑わっていて、とても広いコースを何周も走らされていました。ほかには、ちょっと不良っぽい雰囲気の子たちがいました。スポーツをしているというよりも、ただ氷の上でぶらぶらしているように見えました。周囲を気にしないようすには好感が持たれけど、昔はこういう女の子たちが苦手だったことを思い出しました。(イナ・クウォン)



潘逸舟 Ishu HAN

1987年上海(中国)生まれ。1997年に青森(日本)に移住、東京藝術大学先端芸術表現科大学院修了、東京を拠点に活動する。写真、映像をパフォーマンス性の高い多彩なアウトプットで作品を発表している。現在と対峙する等身大のひとの姿を伝え、近年活躍がめざましいアーティスト。札幌では、自身が2008年に発表した青森の雪を捉えた作品「アヒルの毛を雪の大地に蒔く」に連なりふたたび雪と向き合う新しい作品を作るため、「見えない雪」をキーワードにリサーチやフィールドワークを行なった。

主な活動歴：「存在を支配するもの」高架下スタジオ Site-A ギャラリー(黄金町エリアマネジメントセンター)/横浜、「隣り合う記憶」international studio & curatorial program / US、「In the Wake」ボストン美術館 / US、ACC(アジアンカルチュラルカウンシル)受賞など
<http://hanishu.com/>



Behind of someone

2016

映像インスタレーション(19分47秒)

見えない足跡

2016

映像(13分15秒)

*北海道泊原子力発電所が見える海岸でのパフォーマンス

協力：中村 絵美(知床羅臼町観光協会)、石山 ひなの、岡和田 直人、小林 亮太郎、坂口 千秋、福原 明子

青森で育った私にとって、雪との暮らしは日常的な存在でした。寒さと共存する身体は、作品を制作する上で切り離すことのできない大きなテーマでもあります。今回のレジデンスでは、その冬、雪、寒さと身体の関係性について考えていこうと決めていました。さっぽろ天神山に到着後まもなく、リサーチのため道東(標津、根室、知床、網走)に出かけました。オホーツク海からやってくる流氷を見ることと、網走にある北方民族博物館を見学するのが目的でした。北方民族博物館では、極寒の地で人間が暮らすための多くの知恵を見ることができるとも興味深い展示でした。と同時に人々はなぜ極寒の地で生活しはじめたのか、あるいは生活しなければならなかったのか、これは私にとっての次のリサーチの課題でもあります。

また道東での旅の中で、多くの牧場を見ました。こんなに広がった牧場を見るのは初めてで、そこには多くの足跡があって、ずっと遠くの見えない場所まで続いていました。その経験は、作品を制作する過程で大きなきっかけを与えてくれました。

私は毎回どのような作品をつくるのか時間ギリギリになるまで考えるタイプですが、天神山のレジデンスではスタッフの方々にいろんな場所に連れて行ってもらい、リサーチや制作において非常に多くのヒントを得ることができました。(潘逸舟)



ボート・シャオチュアン・チャン Boat Xiaochuan ZHANG

1983年上海(中国)生まれ。ロンドン(UK)のゴールドスミスカレッジで学び現在は上海拠点。「匿名性」「アマチュア性」「お手軽にやってしまう」といった振る舞いを保ち、現代社会に対し、どうすればアートが新たな可能性を示唆できるのかと問いつつ活動する。パフォーマンス、詩、言語や文章など手法は多岐にわたる。滞在中には、アジアの観光客が押し寄せる札幌では「雪のおみやげ屋台」をつくり、販売するプロジェクトを行なった。

主な活動歴: 「Breakfast at Tiffany's」The Bazer Compatible Program/ 上海、「Find Wukong/ Understanding of Emptiness」Shanghai Urban Space Festival/ 上海、「A River Before 1958-Other History Same-Same Shanghai & Mumbai」、レジデンスなど。
<http://www.boatzhang.com>



Hokkaido Snow Shop

2016

パフォーマンス、社会彫刻

協力: 中島 洋 (シアターキノ代表)

2015年の春、私は3日間だけ札幌に滞在しました。4月初旬だというのに天神山にはまだ雪が残っていて、街は中国人観光客で溢れていました。上海に戻って私は中国版オンラインショップのタオバオで札幌の雪を一つ2元(40円)で販売しました。2人が購入しましたが、どうやって(溶けた)雪を送ったらいいのかわかりませんでした。

今回私は、北海道の雪をバレンタインデーに中国人観光客に販売しようと試みました。100本の瓶に雪を詰め、ひとつ100円で販売し、さらに特別限定品として幸福な雪、悲しみの雪、平和の雪、大晦日の雪なども揃えました。本物の商売らしく、もちろん値段も少々高めです。「北海道の雪」を抱え、看板をぶら下げて、CMを繰り返し流しながら、狸小路商店街の1から7まで2回往復しました。google翻訳した中国語、日本語、英語をコンピュータが読み上げました。「この雪は、札幌、小樽、登別、洞爺、函館、木古内、富良野、美瑛、旭川、稚内、北見、網走、斜里、知床半島、摩周、根室、釧路、えりも、帯広で採取され、特殊技術によって保存されています」と。しかし、CMには嘘がつきものように、実は全部その日天神山で瓶詰めしたものでした。

私はまた、8日間で北海道の東西南北の先端と中心を訪れ、各地の雪を一瓶ずつ持ち帰りました。雪が溶けると中からは、葉っぱや虫、石、砂、吸殻、プラスチックのかけら、鳥の羽根など、思いがけないものが現れました。雪を集める旅は、無茶で使い途のない、でも驚きに満ちた未知の冒険でした。ヒッチハイクをし、山道を登り、虚実をごちゃごちゃに混ぜながら、この雪とあの雪に、どんな違いがあるのか問いかけようと思いました。

11個の瓶が売れました。半分は見知らぬ人、そのうち3人は中国人でした。本当にその土地の雪だと信じる人もいました。あるオバサンは「雪は雪でしょ?」と言いました。その通りです。でも人は様々な違いを作り上げ、自分たちを言いくるめようとするのです。

私はプロセスを何よりも楽しみました。「作品」は幾通りもの見せ方がありますが、私が辿った道はたった一つです。私は今この場所の一部だと感じています。あなたもそう感じていたらうれしいです。(ボート・シャオチュアン・チャン)



Artist in Residence Program 2016 WINTER

さっぽろ冬のバカンス 2016

アートとリサーチ

ART & RESEARCH

北海道の旅と
プロジェクトのプランの作成の
アーカイブ・ワークショップ

2016.3.15 - 3.29

創造都市さっぽろ・札幌国際芸術祭実行委員会による、調査研究をベースとした作品やプロジェクトを構築できるアート人材の啓発・育成を目的として、アーティストを対象としたワークショップを行った。アーティストが札幌・北海道に滞在して、その土地の風土や歴史などを調査し、場所の特性を活かした作品やアートプロジェクトのプランやリサーチ活動をデジタルアーカイブした。

企画：さっぽろ天神山アートスタジオ / 一般社団法人 AISプランニング
主催：創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会
助成：文化庁 平成27年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



SAPPORO TENJINYAMA

ART STUDIO

■ 施設案内

さっぽろ天神山アートスタジオ(以下、天神山AS)は1階と2階とで大きく仕組みが異なります。1階は3つの交流スタジオ(有料)や展示スペース、図書スペースなど誰でも使うことができる公共空間。2階は13の滞在スタジオを備え、ランドリールームなどの生活空間、または創作的活動を行うため滞在者専用の空間となっています。

○交流スタジオ

作品制作活動、会議、研修会などに使用できます。原則どなたでも利用できます。大きな音が伴う楽器演奏やダンスなどを行う場合は使用に制限があります。事前にお知らせください。

交流スタジオを使用する方に共有物品を無料貸出しています。

[プロジェクター/スクリーン(可動式)/鏡(可動式)幅90cm×高さ185cm/作業用テーブル/音響機材(マイク/CD/ラジオ)/移動式黒板/移動式ホワイトボード]

・交流スタジオA

約72.0㎡(平方メートル)/横12.0m×奥行6.0m×高さ2.6m

・交流スタジオB

約71.0㎡(平方メートル)/横11.8m×奥行6.0m×高さ2.6m

・交流スタジオC

約60.0㎡(平方メートル)/横10.8m×奥行5.6m×高さ2.6m

○滞在スタジオ

プロ・アマチュアを問わず24時間利用できる滞在型制作・調査活動(アーティスト・イン・レジデンス、ゲストスタジオ)のスタジオ、拠点として使用できます。

制作に必要な基本的な工具、機材、またケトルやドライヤーなどの生活備品も共有で使用できます。食事の提供、清掃サービス、枕や毛布、シーツ類など寝具の提供はありません。滞在者ご自身でご用意ください。(使用後は現状回復をお願いいたします。)各スタジオには、簡易キッチン、冷蔵庫、バス、トイレが付属しています。また、共有で使えるキッチン、ランドリールームもあり、無線Wifiも使用できます。

・滞在スタジオA

定員:1名/スタジオ数:6/約19.0㎡(平方メートル)/1K相当

・滞在スタジオB

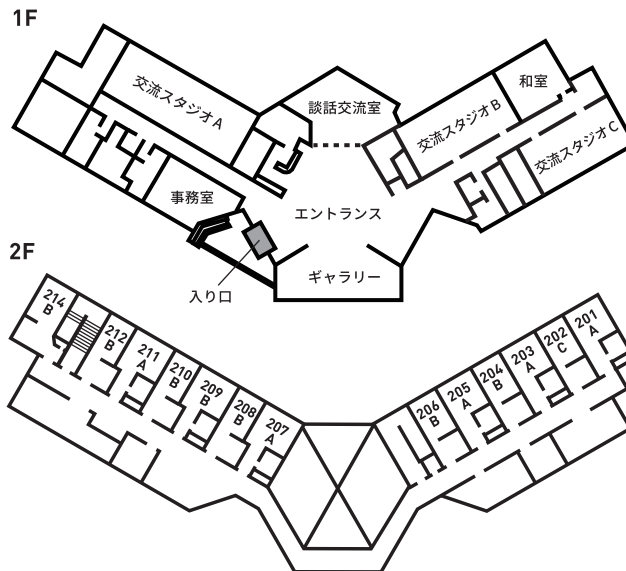
定員:1-3名/スタジオ数:6/約53.0㎡(平方メートル)/2DK相当

・滞在スタジオC

定員:1-4名/スタジオ数:1/約73.0㎡(平方メートル)/3DK相当

使用料、各スタジオの空き状況、申請方法はwebページをご確認ください。

tenjinmastudio.jp



■ 問い合わせ

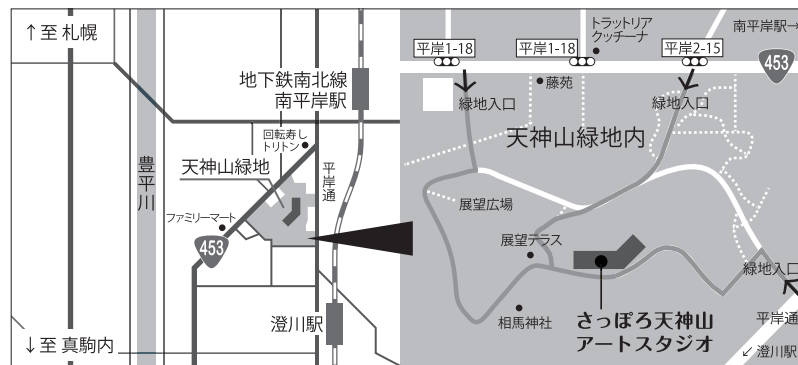
住所: 〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条17丁目1番80号(天神山緑地内)

TEL: 011-820-2140 / FAX: 011-820-2142

メール: info@tenjinmastudio.jp

開館時間: 午前8時45分～午後9時00分

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)および年末年始(12月29日～1月3日)



2年目とこれから。

さっぽろ天神山アートスタジオのAIR

さっぽろ天神山アートスタジオには、国内外から多くの方が活動の場を求めてやってきています。(昨年度:のべ235名、今年度:のべ417名)文化芸術分野において、“アーティスト・イン・レジデンス”は、アーティスト支援のしくみとして国際的によく知られた単語です。天神山アートスタジオの運営にあたり、初年度からこのしくみを掲げるプランを実行したことにより、開館から2年目にして早くも国際的な周知が進み、国内外とのネットワーク構築に成功しています。ここでは4つのタイプのAIRプログラムを実践しています。

セルフ・ファンディングプログラム(経費自己負担型/ゲストハウス型)

国際公募プログラム(招聘型/奨学金型)

国内外とのネットワークプログラム(パートナーからの派遣アーティスト受入)

合宿型プログラム

セルフ・ファンディングから生まれた新しいネットワーク

国内のほかのAIR拠点にもさっぽろ天神山アートスタジオでのAIR活動の周知が進み、ほかのAIRで招聘されたアーティストが北海道、札幌へと旅するときの拠点に利用する事例が増えています。それによって、お互いのAIRの状況や周囲の環境などの情報がアーティストを介して交換され、活動資料を相互に送り合うなど国内AIR運営者間での情報の蓄積が始まっています。

また、札幌市内の音楽、演劇、美術など、ジャンルを問わず幅広い文化芸術事業で招聘された方々の滞在拠点に利用していただくための誘致活動にも力をいれています。その成果として、札幌の文化芸術活動のハブ拠点としてのポジションが宿りはじめ、市内の文化芸術事業や事業運営者とジャンルを超えた新しい関係構築、連携の可能性が芽生えています。

さらに、海外からのアーティストに、札幌暮らし案内、市内案内といった滞在制作のための暮らしの情報や、資料の翻訳、カジュアルなトークの通訳など、市民通訳ボランティアさんが常時10名前後、運営をサポートしてくれています。通訳ボランティアさんたちは、私たちにとても欠かせない仲間であるとともに、交流会やアーティストの活動に通訳として関わることで市民による草の根のネットワークを札幌市内に広げてくれています。

お隣さんはアーティスト

さっぽろ天神山アートスタジオの面白さは、公園の無料休憩所でもあることから、様々な人が来場する点にあります。アートが好き、関心があるという人ではありません。偶然立ち寄った方々に少しでも館内に滞留してもらう、公園の散歩途中にまた立ち寄りたくなると感じてもらえるための環境整備をしています。例えば、ドラムセット、楽器類を置く。書籍や卓球台、絵本やクッションを置き子ども連れが遊べる場を創るなど館内にしかけを張り巡らせています。今では、ナショナルジオグラフィックをご自分が読んだ後、ライブラリーの蔵書にと毎月届けてくれる方、卓球をやるために通ってくる男子高校生のグループや、老夫婦、練習をはじめたばかりの女子高生バンド、カードゲームに興じる小学生、資格の勉強のためにくる人など、それぞれの目的でそれぞれの時間を過ごしています。2014年の開館からサポートを継続してくれる地元の方は、私たちにかわってさっぽろ天神山アートスタジオの施設案内や来場者への解説を地域の歴史とともに話しながらガイドしてくれています。近隣地域の南平岸エリアの方々とは、「天神山文化祭」「歌謡祭」といった共同のイベントを実現させたり、地域をもっと面白く知るための「うわさんぼ」というプログラムを行ったりと積極的におつきあいをしています。このような地域のお祭りの場としてもアートスタジオが利用されるようになりました。私たちに近隣地域や来場者の存在は、ほかのAIRや文化芸術施設の場所にはない大切な宝です。この特徴的な環境は、国内外からのアーティストにとってもさっぽろ天神山アートスタジオを選ぶ一つの理由になっています。

開館当時、ご近所の方が「閉まっていた施設が再開して、すごくうれしい」と話されました。文化芸術施設ができたことを喜んでおられるのではなく、空き家だったところに「人がいること」に安心し、喜んでいただいている。このことは当たり前なのですが、遊休施設が再稼働した大きな成果ではないかと考えます。文化芸術、アーティストという市民の日常生活には関わりがないと思われている人々が、お隣さん、ご近所さんになる。そんなこれまでなかった文化芸術施設さっぽろ天神山アートスタジオの運営を通じて、日常とはほんのちょっと違う、風変わりでうそみたいで平和なスポットを札幌につくり出していきたいと考えています。

さっぽろ天神山アートスタジオ AIRディレクター 小田井 真美

さっぽろ天神山アートスタジオ 2015

<運営>

一般社団法人 AIS プランニング

<スタッフ>

漆 崇博 (代表理事)

小林 亮太郎 (施設マネージャー)

鈴木 萌 (コーディネーター)

杉本 直貴 (コーディネーター)

高橋 絵理子 (コーディネーター)

小田井 真美 (AIRディレクター)

坂口 千秋 (国際公募プログラム制作コーディネーター)

福原 明子 (プロジェクトコーディネーター)

<協力者> (敬称略、順不同)

川島 章、吉田 宏、都築 ひろ美、植村 絵美、岡和田 直人、大風呂敷工場の皆さん、小林 正明、金津 麟太郎、真木 裕太、大橋 鉄郎、手代木 優、石山 ひなの、西村 遥奈、秋保 沙央里、安田 千皓、南沙樹、川成 由、まちづくり会「いきいき南平岸」、南平岸まちづくりセンター、末廣 仁志、木俣 克美、近藤 和雄、熊谷 淳、松岡 亜弥子、三浦 由美子、山川 麻里子、北海道スポーツコンシェルジュ、花ときのこほそがい、久保 バラ園、神楽珈琲店、シフォン亭ほやほや、丹菊 逸治、山際 廣昭、兵頭 ニーナ、都築 瞳、ファミステイ、岸 律子、鈴木 里美、松田 順治、郷 仁、加藤 勲、小原 昌子、佐仲 泰輔、早川 典子、ドヴィーニュー 仁央、佐藤 加奈子、榎 真弓、鈴木 光子、廣田 摩子、神保 知子、小田切 真理、山本 光穂、川手 麻衣子、千秋 美紀子、榎 彩香、森 雅美、木村 洋子、酒井 真理子、高瀬 隆子、高橋 幸恵、瀬戸 孝幸、遠藤 香織、高島 悠、石橋 裕、吉岡 隆、山本 顕史、長谷川 朋美、長谷川 洋介、山本 謙一、藪谷 祐介、植田 俊、中島 洋、佐藤 真奈美、中村 絵美、相馬 神社、札幌駅前通まちづくり株式会社、NPO S-AIR、CAI 現代芸術研究所、北海道演劇財団

運営に関わってくださった市民の皆さま

さっぽろ天神山アートスタジオ 2015 活動記録集

<編集>

坂口 千秋

杉本 直貴 (一般社団法人 AIS プランニング)

鈴木 萌 (一般社団法人 AIS プランニング)

<翻訳>

坂口 千秋 (P18, 20)

曾我 英子 (表紙)

<デザイン>

真砂 雅喜

<記録写真>

小牧 寿里

岸野 友遊

佐藤 亜梨沙

ポート・シャオチュアン・チャン

潘 逸舟

さっぽろ天神山アートスタジオ

<発行>

一般社団法人 AIS プランニング

〒064-0811

札幌市中央区南11条西7丁目3-18

Tel : 011-596-6726

Fax : 011-596-6727

www.ais-p.jp

Overview of Sapporo Tenjinyama Art Studio:

Sapporo Tenjinyama Art Studio is an artist in residence program and facility which opened in summer 2014 in Sapporo city. Located inside Tenjin-yama Park and situated near the top of Tenjin Hill (85m), Tenjinyama Art Studio is a quiet environment surrounded by nature, 13 studio apartments, exhibition space and studios which is open for anyone to rent. The building is also open to people who are visiting the park to take a break. The atrium lounge on the ground floor is a communal area where anyone can drop in freely and artists participating in the program can communicate with local people on a daily basis through various events, artist presentations and open-to-the-public projects. For more information, please visit the website.

<http://tenjinyamastudio.jp/en/about/>

Sapporo Tenjinyama Art Studio 2015